

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 28 年 2 月 19 日

計画の名称	吹田市における循環のみちの実現		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象	吹田市
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。		

計画の成果目標 (定量的指標)	③下水道処理人口普及率を99.8% (H22) から99.9% (H26) に増加させる。
-----------------	---

定量的指標の定義及び算定式		備考																						
③下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口 (人) / 総人口 (人) ※総人口 : 352,173人 (H22行政人口)	定量的指標の現況値及び目標値																							
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)																					
	99.8%	99.9%	99.9%																					
<table border="1"> <tr> <td>全体事業費</td> <td>合計</td> <td>853.1 百万円</td> <td>A</td> <td>853.1 百万円</td> <td>B</td> <td>0 円</td> <td>C</td> <td>0 円</td> <td>効果促進事業費の割合</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>*上段 (黒字) : 計画額 下段 (赤字) : 実績額</td> <td>(A+B+C)</td> <td>832.1 百万円</td> <td></td> <td>832.1 百万円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C / (A+B+C)</td> <td></td> </tr> </table>	全体事業費	合計	853.1 百万円	A	853.1 百万円	B	0 円	C	0 円	効果促進事業費の割合	0.0%	*上段 (黒字) : 計画額 下段 (赤字) : 実績額	(A+B+C)	832.1 百万円		832.1 百万円					C / (A+B+C)			
全体事業費	合計	853.1 百万円	A	853.1 百万円	B	0 円	C	0 円	効果促進事業費の割合	0.0%														
*上段 (黒字) : 計画額 下段 (赤字) : 実績額	(A+B+C)	832.1 百万円		832.1 百万円					C / (A+B+C)															

事後評価

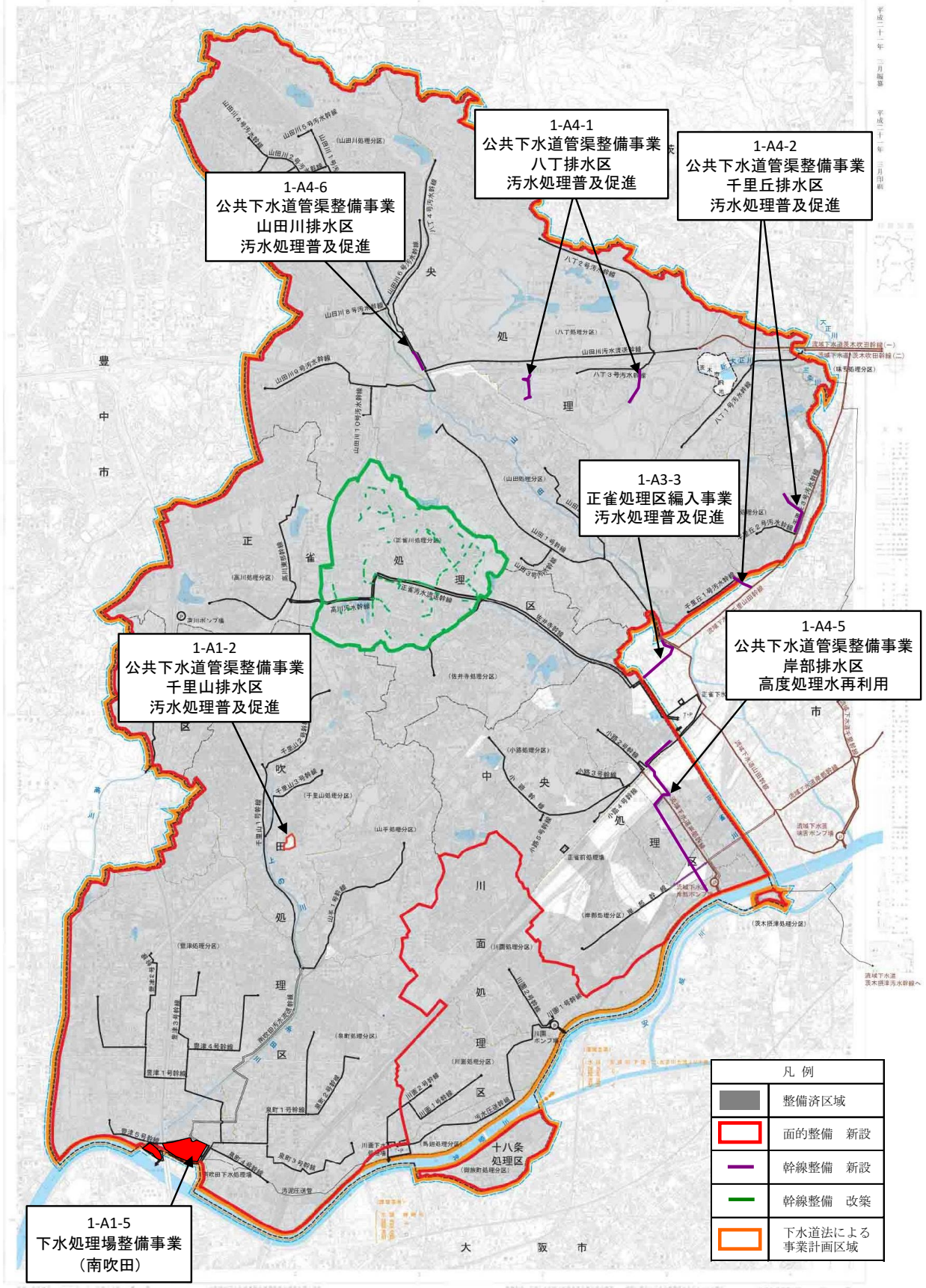
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
吹田市下水道部で実施し、学識経験者へ意見を求めた。	平成28年 1月 公表の方法 吹田市下水道部下水道経営室ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
南吹田処理区																	
1-A1-2	下水道	一般	吹田市	直接	-	汚水	新設	公共下水道管渠整備事業 (千里山排水区, 汚水処理普及促進)	汚水管 φ200mm L=142.7m	吹田市						10.0	
1-A1-5	下水道	一般	吹田市	直接	-	処理場	増設	下水処理場整備事業 (南吹田)	放流ポンプ72m ³ /分×1台、 汚水ポンプ60m ³ /分×1台	吹田市						205.6	
小計 (南吹田処理区)													215.6				
正雀処理区																	
1-A3-3	下水道	一般	吹田市	直接	-	汚水	新設	正雀処理区編入事業(汚水処理普及促進)	汚水管 φ800・600mm L=556.5m	吹田市						228.0	
小計 (正雀処理区)													228.0				
中央処理区																	
1-A4-1	下水道	一般	吹田市	直接	-	汚水	新設	公共下水道管渠整備事業 (八丁排水区, 汚水処理普及促進)	汚水管 φ250・200mm L=868.7m	吹田市						129.0	
1-A4-2	下水道	一般	吹田市	直接	-	汚水	新設	公共下水道管渠整備事業 (千里丘排水区, 汚水処理普及促進)	汚水管 φ800~200mm L=589.1m	吹田市						176.3	
1-A4-5	下水道	一般	吹田市	直接	-	合流	新設	公共下水道管渠整備事業 (岸部排水区, 高度処理水再利用)	送水管 φ250~50mm L=1628.1m 圧送ポンプ機械・電気設備	吹田市						64.2	新世代
1-A4-6	下水道	一般	吹田市	直接	-	汚水	新設	公共下水道管渠整備事業 (山田川排水区, 汚水処理普及促進)	汚水管 φ600mm L=91.6m	吹田市						19.0	
小計 (中央処理区)													388.5				
合計 (下水道事業)													832.1				

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
										合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況										
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<p>污水管整備により下水道処理人口普及率が向上した。下水道処理人口普及率の向上は、水洗化率の向上へつながり公共用水域の水質保全に寄与し、また、下水道使用料収入にも反映されるため下水道事業の経営面にも寄与する。</p>								
II 定量的指標の達成状況		指標③（下水道処理人口普及率）	最終目標値	99.9%	目標値と実績値に差が出た要因					
			最終実績値	99.9%						
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)										
3. 特記事項（今後の方針等）										
<p>今後の方針として、公衆衛生の確保及び公共用水域の水質保全のため污水管未整備地区の早期解消、接続率の向上に向け、関係機関や土地所有者との協議を進めていく。旧合流地域における分流化のための污水管整備についても引き続き実施していく。また、効率的な下水道事業運営の視点から単独公共下水処理場の在り方などについて統廃合も含めた検討を進めていき、快適な暮らしの実現、良好な環境の創造に向け、今後も公共下水道事業を推進していく。</p>										



吹田市

交付対象

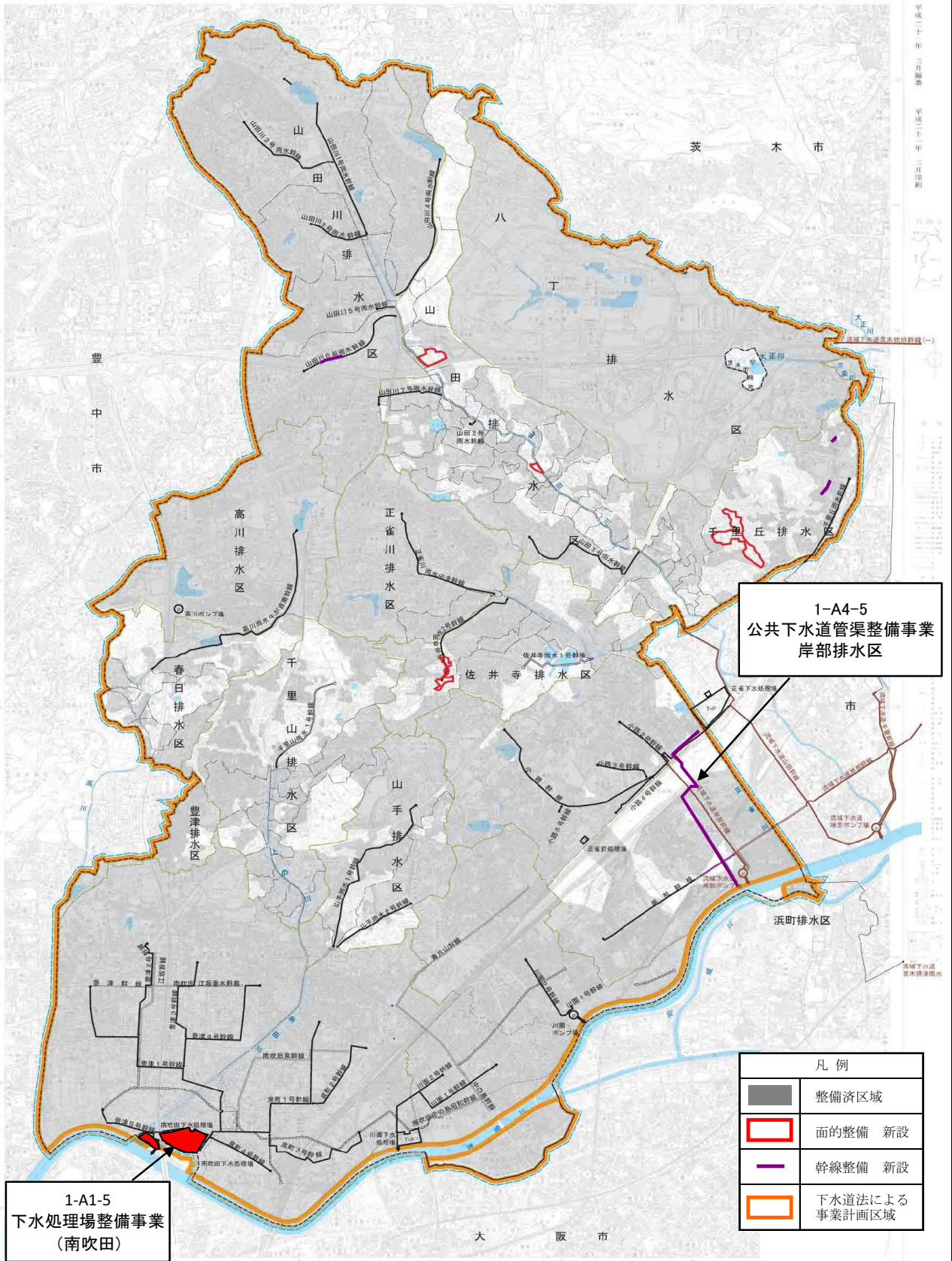
1 吹田市における循環のみの実現
平成22年度～平成26年度

計画の名称
計画の期間

(参考図面)

1:10,000 地形図

吹田市下水道計画一般図 (分流雨水・合流)



平成二十年三月編纂
平成二十一年三月印刷

凡例	
	整備済区域
	面的整備 新設
	幹線整備 新設
	下水道法による事業計画区域